

ホホウキ 風だより

認知症をサポートする広報誌



【これからの研修会、そして網走ブロックの在り方】

網走ブロック会長：青山由美子

網走ブロック会員の皆様には日頃、大変ご協力をいただき誠にありがとうございます。網走ブロックが立ち上がり二期目を迎え、事務局、役員共々、中央との連携を保ちながら網走ブロックに課せられている課題を見失わずに邁進していこうと役員一同が結束を固めているところであります。また、各地区におきまして有志における勉強会が着々と根付いている事も嬉しく思う所存であります。

昔から、医療・介護は峠からこちらは出遅れていると、よく言われたものですが確かに今一度「認知症介護とは」を含めました認知症介護の基本をもう一度おさらいする事も重要な事だと役員一同が我が身をもって感じているところであります。

介護福祉士の受験の中には、調理・栄養も確かに入ってきております。しかしながら、ホーム利用者であります入居者様の生まれた時代、また影響を多く受けている両親の生まれた地域や時代背景等、日本にいながら知らない自分達がいます。馴染みの生活の提供、その人らしい生活の提供と頭では理解していても現実的に生活の中で活かされない部分がほとんどであります。

認知症が重度になると、同じ言葉しか発する事が出来ない利用者様がいます。その同じ言葉の中には、たくさんの訴えがある事も察知する事が重要です。赤ちゃんは「おぎゃあ」としか発語がありませんが、母親は瞬時に読み取りミルクなのか、おむつが汚れたのか、眠たいのか、どこか痛いのか等、たくさんの想像力を発して読み取ります。認知症重度の介護も、言葉にならない利用者様の発語を、その方の個人史、その時の表情・動き・環境から組み立て、そこに尊厳をもって対応する事が重要なのだと思います。このように基本をもう一度現場で学び、次なるステップに挑む事が上滑りにならない研修のあり方ではないかと思えます。

自分のホームの不足している所はどの部分なのか、まずチームでの話し合いから始め、自身のホームで不足している研修を代表の方が参加し、その研修報告をチームが待っているんだという、目的の持った研修参加の在り方が重要と思えます。

今後も網走ブロック研修は、勿論のこと各地区におい

目次：

これからの研修会、そして網走ブロックの在り方	1
網走ブロックGH紹介	
GHきらめきの里むつみ	
GHふぁみりあ	2
GHしらかば	3
GHファミールみどり	
GH協議会 事業計画	4
シリーズ《風のうた》①	



での忌憚のない、何でも話し合えるブロックの在り方が一番と思えます。

今後とも、研修のあり方や運営につきましての意見を遠慮なく気軽に各代表の方を通じまして伝えて頂けますようお願い申し上げます。最後までご拝読ありがとうございます。

【網走ブロック グループホーム紹介】

社会福祉法人 北見睦会
グループホーム かがやきの里 むつみ
所在地：北見市 定員：1ユニット・9名)

社福法人北見睦会は今年で創設 55 年が経ち、様々な事業を展開している。その事業のひとつとしてグループホームかがやきの里むつみが平成 16 年に開設した。2 階建ての建物で、1 階がグループホーム、2階がデイサービスとなっている。

リビングに入るとまず、壁のディスプレイに置物が可愛く飾られているところに目が行く。木を基調とした内装で天井の梁、手すりは違和感なく家庭的な雰囲気を演出していた。床もフローリングだが、クッション材を使用しており、機能性も考えられている事が感じられた。



～理念～
「ゆっくり、少しずつ、
自分らしく、ありのままに…」

穏やかな生活の中にも、活動的な部分もあり、毎月イベントがあるとの事。また、2 階のデイサービスで気軽に活動する事ができ、同じ屋根の下だからこそ出来る特色と言える。家族へも、毎日の様子を書いた通称「二行日誌」を渡しており、「生活が良く分かる」と家族からの評判も上々。管理者の畠山さんは「利用者、家族、職員が笑って居られる場所をモットーにみんなでむつみを作っています!!」と力強く答えてくれた。

INFO
第 6 回かがやきの里祭のご案内
平成 21 年 8 月 23 日 (日)
緑ヶ丘 3 丁目 29-2
当ホームにて

医療法人社団 北星会
グループホーム ふぁみりあ
所在地：北見市 定員：3ユニット・24名)

平成 15 年開設。北見中心市街地に立地していることから、多くの家族から、交通の便が良いということによく訪問されているということです。また近隣には内科、外科、皮膚科等すぐ近くに病院があるため、緊急時でもすぐに行くことができる為、非常に恵まれた立地条件で運営されています。

管理者の大内氏に「ふぁみりあ」の特徴をお尋ねしたところ、スタッフが 3 ユニットで 30 名、1 ユニット日勤 4 名、夜勤 2 名で勤務しているため、日中利用者さんの行きたいところへいつでもお連れすることが出来るし、夜も 2 人勤務の為、安心して見守れるということで、人員がとても充実しています。ホテルのフロアーを利用して



いるのですが、エレベーターを降りるとそこは普通の素敵な家庭の雰囲気とても考えられた作りでした。端野の畑を借りて野菜を作ったり、温泉一泊旅行へ出かけたりと、利用者さんとスタッフがいつも楽しく過ごしていると感じました。



医療法人 交雄会
グループホーム しらかば

所在地：遠軽町生田原 定員：1ユニット・9名



生田原の市街地にあるグループホームしらかばに訪問し、管理者の上城さんにお話を聞く事が出来た。ホームの造りは、診療所の2階病棟を利用している。居室は元々3人部屋という事もあり、十分な広さを感じた。全体的に病院という印象は無く、リビングの温かさを感じるしつらえとなっていた。廊下には、入居者さんの趣味である写真を飾る等し、みなさんの目を喜ばせている。特色を尋ねると、毎日の入浴、1階が診療所で医療との連携が密に出来る事。そして一番は自然の美しさと言われる。ホームの裏には遊歩道、パークゴルフ場などあり、川も目の前で流れている。川の向こうには公園と緑濃い山がうかがえ、そこには秘密の山菜場もあ

～理念～

私達は、利用されている方々に安らぎを提供するように、礼節と尊敬を持って支援するよう努めます。できることも、できないこともお互い協力し、助けあい、心穏やかな、優しい時をすごすよう支援致します。



るらしい。四季折々な風景が楽しめる眺めとなっている。しらかばでは、理念をもとにした自分たちの言葉がある。「皆でいると楽しい」「皆でいると安心だ」「できない事は助け合い」「できる事も助け合い」「やさしい時をすごしましょう」上城さんを軸に職員みんながやさしい雰囲気である事が感じ取れた。

有限会社 ケアサポートますむら
グループホーム ファミールみどり

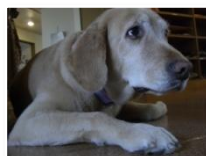
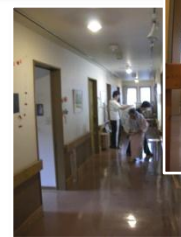
所在地：網走市 定員：1ユニット・9名

～理念～

「利用者の尊厳を保ち、ゆっくり楽しく
一緒に生活の再編をする」

ファミールみどりは今年の8月で9年を向かえ、管内でも早い時期に開設した経験豊かなホームと言える。入居者さんも最長入居歴が6年を超える方4名おり、最近入居された方も2年前との事。ホームの造りは2階建の住宅で1階をGHとして使用している。ホーム内は木を基調とし、食堂・キッチン・リビングを中心に両はじに個室が広がる。まず出迎えてくれるのが、ゴールデンレトリバーの「ひめ」ちゃん。看板犬らしく、頭を撫でて貰いにご挨拶に来る。犬が苦手な方もご安心。普段は奥におり、主人が呼ぶとご挨拶に来るお利口なひめちゃんです。

ホームの特徴は、ボランティアの受け入れや、町内会との繋がりにあると思う。ボランティアとして、バレーボール少年団が月2回、お年寄りとのふれあいを目的に来られる。読み聞かせは月1回。町内会として何か出来ないかとの事で、ふれあいを目的に月2回程来られている。また、職員自らがお茶を立て、野立(お茶会)を行うなど、活動も活発。もともとボランティアで来ていて、勤め始めたという方が5名も居るから力強い。



INFO

ファミールみどりHP
<http://www.famille-midori.com>

GH 協議会 事業計画
【平成 21 年 9 月～12 月】

詳しくは、順次お知らせ致します。尚、内容は変更する場合がございますので、ご了承下さい。

【北海道 GH 協議会】

9 月 5 日：北海道認知症フォーラム・北海道グループホーム大会（函館市 七飯町）

【道東ブロック】

10 月 4 日：SOS シンポジウム（釧路市）

【網走ブロック】

9 月 19 日：SOS ネットワーク市民開放講座（北見市）

講師：福岡県大牟田市 グループホームふぁみりえ ホーム長 大谷るみ子 氏

10 月 8 日：スタッフ研修・管理者研修

講師：武田会長・加藤、宮崎副会長

シリーズ 《風のコラム》

「我がルーツの地を訪れて①」

(株) エムリンク 夢ふうせん さろま
施設長 小林 達生

私の 7 代前の先祖は、福井県に居たことが解ったのは 15 年ほど前だった。いつかは訪れて、先祖と同じ空気を吸いたいと思っていたが、なかなか実現出来なかった。昭和 24 年生まれの私が 60 歳になる今年、人生の一区切りとして家内と二人で福井を訪れる事が出来た。先祖の墓参りが大きな目的ではあったが、永平寺に行くことも楽しみであった。

結局、先祖の墓までは解らなかったが、血のつながりのある方と会うことが出来その方の案内で永平寺を訪れた。福井に着いたときから、何かしら懐かしい匂いを感じてはいたが、山門に着いた時、山全体から魂が震えるような不思議なパワーを浴びた。修行僧が甲斐甲斐しく行き来する中、心に響くすてきな言葉達と出逢うことが出来た。俗に禅語（ぜんご）と言うやつである。次回に、その言葉達を紹介したいと思います。大好きになった言葉「惺 惺 着」せいせいじゃく どんな意味かはお楽しみに・・・

【編集後記】

GH 協議会に入会している事業所さんをこれから何カ所も訪問させていただきますが、今回訪問させていただいた GH 様には突然の訪問で本当に申し訳ございませんでした。しかし管理者様にお話を聞かせて頂いたり、現場を見せて頂いて、みなさん本当に頑張っていることがよくわかりました。それぞれに工夫をし、利用者さんと楽しく元気に暮らしていることがよくわかりました。今回 3 人で訪問させていただきましたが、もっと多くの方々いろんな GH との交流を深め、より良い GH 作りに共に協力しあえたらと感じました。11 月頃どこかの GH 様にお邪魔致しますのでその時はよろしく願いいたします。（ふれやか和・高橋佳三）

北海道認知症高齢者グループホーム協議会
網走ブロック 事務局
〒092-0063
網走郡美幌町字元町 28-42
グループホームふれやか朋悠
Tel:0152-72-0606 Fax:0152-72-0601

北海道認知症高齢者グループホーム協議会
ホームページもご覧下さい。

<http://hokkaido-gh.org/>